

最終更新日	2016年(平成28年) 4月28日
-------	--------------------

## 2016年度(平成28年度)学校評価自己評価表

芦田中学校区	校番 40	福山市立有磨小学校
--------	-------	-----------

### I 福山市のめざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

### II 前年度の学校関係者評価を踏まえた改善点

- ・地域人材の活用及び児童生徒の地域貢献等、学校と地域がふれあう行事を計画実行する。
- ・元気のよい挨拶を定着させることをめざし、地域と共に取り組む。
- ・学校評価自己評価表の表記を整理し、より分かり易くする。

### III 中学校区

#### 1 めざす子ども像

ふるさと芦田に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓き、たくましく生きる子ども

#### 2 研究主題及び主な研究内容

- 「自ら進んで考え、はっきり表現できる芦田っ子」を育てる授業づくり
- ・道徳を中心とした授業の改善(理論研修・模擬授業研修・授業研究会)
  - ・推進組織4委員会による活動(①学力向上委員会 ②総合的な学習・キャリア委員会 ③生徒指導委員会 ④体力向上・保健安全委員会)
  - ・小中一貫教育カリキュラムの作成・改善・実施

#### 3 現状(成果及び課題)

##### (1) 児童生徒

挨拶がよくできると地域からも評価され、より一層率先して気持ちの良い挨拶ができるようになることをめざしている。

授業等において、小学校において、進んで発表、結論先行・理由付け説明ができる児童の割合が増えてきているが、小学校高学年や中学校になるにつれ多くなる発表への苦手意識や声が小さいなどの課題があり、豊かな表現力が身につけていない。

県「基礎・基本」定着状況調査結果から、基礎・基本の力は概ね定着してきたといえるが、活用する力には課題があり、実生活や学習の様々な場面で、考えを深め・表現することが苦手である。

##### (2) 授業

授業者の問いに児童生徒が答える一問一答形式の展開が多く、付けたい力を明確にして児童生徒の考えを伝え合わせたり、学びを深めさせたりしていくなどの展開の工夫をする必要がある。

昨年度から、校区のめざす子ども像実現に向け、「言語活動の工夫」、「小集団学習の効果的な活用」、「書く活動の工夫」などの視点を柱とした改善に取り組み、「自ら進んで考え、はっきり表現できる芦田っ子」を育てる授業づくりを進めている。

### IV 自校

#### 1 学校経営方針

##### (1) 学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる 有磨っ子 を育てる  
「よく聴き 進んで学ぶ子」 「なかよく助け合う子」 「最後までやりぬく子」

##### (2) 自校の使命(ミッション)

21世紀をたくましく生き抜く知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな児童を育成する

##### (3) 自校の将来像(ビジョン)

ARIMA CAN DO IT

- ・豊かな学びのある学校
- ・安全で美しい学校
- ・生き生きと活動している学校
- ・家庭や地域と共にある学校

#### 2 研究主題及び主な研究内容

自ら考え、豊かに表現する児童の育成  
～自他とのかかわりを大切にし、表現活動を生かした授業づくり～  
有磨小スタイルのペア学習 はっきり表現させるための話形 教師の肯定的評価

#### 3 現状(成果及び課題)

##### (1) 児童生徒

【成果】授業や家庭学習に意欲的に取り組み、基礎基本定着状況調査及び全国学力学習状況調査において県及び全国平均を上回るなど基礎的学力はおおむね定着している。決められたことはよく守り、何事にもまじめに取り組むなど、集団としての規律ある行動がとれる。  
【課題】児童相互のかかわりあいによる思考の深まりや表現力には課題が見られる。また、学んだことを日常の様々な場面で行動化することに課題がある。

##### (2) 授業

【成果】ペア学習により、自己の考えを深め、表現する経験を積ませることができた。  
【課題】「経験や既習事項を根拠とし、自己の考えを豊かに表現すること」「自他とのかかわりを大切にし互いの考えの変化を確かめ合い、思考を深めること」「学んだことを日常の様々な場面で行動化できるようにすること」に課題がある。

#### 4 めざす授業の姿

- ・自己の考えを相手意識を持ち豊かに表現し伝える、他者の表現を正確に受け止める授業
- ・自他とのかかわり合いのなかで、他者の考えを受け止め、自己の考えを深める授業

V 目標・取組・評価指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	10月1日 □指標にかかる 取組状況 ◎改善方針	プロ セス 評価	達 成 評 価	2月末 □指標にかかる 取組状況 ◎短期(中期) 経営目標の達成状況 ◎改善方針	プロ セス 評価	達 成 評 価	総 合 評 価
確 かな 学 力	3	自他とのかかわりを大切にし、表現活動を生かした授業づくりの推進 全国学力学習状況調査 全国平均以上	★	見直 し	授業 有磨小スタイルの改善定着	・有磨小スタイルのペア学習実施 ・はっきり表現させるための話形を提示 ・教師の肯定的評価の充実	学期末テスト国算理の全校平均 80点以上							
豊 かな 心	1	児童の心に響く道徳教育の推進 自分にはよいところがある児童肯定的回答 70%以上	★	新 規	道徳授業 有磨小スタイルの作成定着	・道徳授業有磨小スタイルの作成 ・道徳研究ノートによる教材研究 ・毎時間の児童ふりかえりの実施	道徳の時間 児童ふりかえり 評価 3.3以上							
健 や かな 体	3	たくましく生きるための健康づくり、体力づくりの推進 新体力テスト 県平均以上 70%以上		見直 し	意欲的に体育の授業に臨むための授業づくり	・サーキット運動の充実 ・補強体操の充実 ・異年齢集団によるわくわくタイムでの体力向上	新体力テスト 県平均以上 65%以上							
市 民 か ら 信 頼 さ れ る 学 校	3	保護者・地域から信頼される学校運営 保護者・地域アンケート 肯定的評価65%以上		見直 し	学校から積極的な情報発信	・学校だよりの発行 ・行事写真等の校内掲示 ・児童作品の掲示	校内で統一した指導 対応をととてもよくしている 保護者・地域 アンケート 肯定的評価 60%以上							

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

[達成評価の評価基準]		[プロセス評価の評価基準]		[総合評価]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評価	基	準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた	5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた	4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた	3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった	2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決をあまり図ることができなかった	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった	1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決を図ることができなかった	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった